

大会規定（１）

- | | | | |
|------------|---|---------|--|
| ① 試合回数 | 7回戦とする。 | ⑨ ベンチ | 抽選において番号の小さいチームが1塁側ベンチに入る。 |
| ② 試合時間 | 午前5時30分～午前6時45分までとする。
6時45分を過ぎて新しいイニングに入らない。 | ⑩ 試合の有無 | 前日の午後6時までにホームページにアップする。 |
| ③ 同点の場合 | 試合終了時の両チームの選手によるジャンケンで
勝敗を決する。ただし、決勝戦には適用しない。
決勝戦が同点で終了した場合は、再試合とする。 | ⑪ オーダー表 | オーダー表を4部、試合開始5分前に提出すること。
(1部返却)
オーダー表に記載されていない選手は出場できない。 |
| ④ 正式試合 | 4回終了をもって正式試合とする。 | ⑫ 先行・後攻 | オーダー表の交換時に両チームの主将のジャンケンにより
決定する。 |
| ⑤ コールドゲーム | 5回以降7点以上の差がついた場合コールドゲーム
とする。ただし、決勝戦には適用しない。 | ⑬ 結果の報告 | 勝利チームが、次の4箇所へ所定用紙を用いて
必ずFAXで報告すること。
協会事務局 203-0406 (souchou89@po4.nsk.ne.jpも可)
北國新聞社運動部 260-3456
北陸放送 260-4040
ネスク 260-3445 |
| ⑥ 試合会場 | 金沢市民野球場、安原スポーツ広場野球場ほか
連盟（リーグ）のグラウンドを使用する。
試合会場の割り当ては、大会実行委員会が
担当する。 | ⑭ 試合球 | トップインターナショナル社製M号球
【全日本軟式野球連盟公認球】を使用する。
チームは1試合につき3個の新球を準備すること。 |
| ⑦ グラウンドルール | 使用するグラウンドルールに従う。 | ⑮ 喫煙 | 学校施設内（駐車場を含む）では全て禁煙とする。
喫煙者のあったチームは不戦敗とする。 |
| ⑧ 審判と記録 | 使用するグラウンドの連盟（リーグ）が担当する。
連盟（リーグ）は、審判員4名・記録員1名・
補助員1名を出すこと。
なお、主審に関して不都合のある場合は、委員会で
調整する。 | ⑯ その他 | 安原グラウンドのスコアボードを使用する場合は、
試合開始のサイレンを鳴らさない。 |

大会規定（2）

⑰ 補強選手 各チーム各試合1名迄、補強選手として協会登録外選手の出場を認める。

補強選手は、高野連に所属していない16歳以上であること。

補強選手は、投手以外の選手としての出場すること。

オーダー表提示時に、補強選手の背番号を『○』で囲むこと。

試合毎に補強選手を変更してもよい。

補強選手の複数チームでの出場は認めない。

⑱ DH制 DH制を採用する

①チームは投手に代わって指名打者を指名することができる。

②チームは必ずしも指名打者を指名しなくてもよいが、

オーダー表提示時に指名しなかったときは、その試合で指名打者を使うことができない。

③オーダー表交換時に記載された指名打者は、相手チームの先発投手に対して少なくとも1度は打撃を完了しなければ交代できない。先発投手が交代したときはその必要はない。

④指名打者に代えて代打者・代走者を使っても良い。以後、代打者・代走者が指名打者となる。

⑤指名打者に投手を指名することができる。

⑥先発投手、指名打者として二刀流で試合に出場する場合は、別々の選手として扱う

監督は、二刀流選手をオーダー用紙のDH欄と投手欄の双方に記載する。

⑲ DH制の消滅

⑦二刀流選手は先発投手として交代しても、指名打者として出場できる

⑧二刀流選手がDH・投手と同時に交代する場合は、他の二刀流選手との交代認められない。

DH制が消滅するのは以下のとおりである。

①指名打者が守備位置についた場合。この場合、投手は退いた守備者の打順を受け継ぐ。

②投手が他の守備位置についた場合

③代打者または代走者が試合に出て、そのまま投手となった場合

④投手が指名打者の代打者または代走者になった場合。

⑤他の守備位置についていたプレーヤーが投手になった場合。

⑥登板中または新しく出場する投手を打順表に入れた場合。

⑦二刀流選手が指名打者から投手以外の他の守備位置についた場合、それ以降指名打者の役割は消滅する。

⑳ その他

試合中に、対戦相手から異議申し立てがあり、

登録外選手が2名以上出場や補強選手が投手等、規定違反が判明した場合、該当チームの反則負けとする。